

周産期医療施設オープン病院化モデル事業 実施状況

平成19年2月

資料2-2

実施主体	仙台赤十字病院	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター愛育病院	岡山県
事業開始日	平成17年10月1日	平成17年11月11日	平成17年8月17日
事業実績	セミオープンシステムで下記6施設で約1,000件 件セミオープンシステムを利用した診療所31施設	オープン分娩数 76件(～12月、前年度123件) セミオープン分娩数 92件(2006年、前年10件)	セミオープンシステム申込み 52件 分娩数27件(H18.12月現在)
産科オープン病院の概要	病院名	愛育病院	岡山大学病院
	オープン病院の概要	全病床数118床 総合周産期母子医療センター 産科59床、MFICU6床、NICU9床 (年間分娩数1650例、うち帝王切開数381例)	全病床数870床 産科22床、NICU3床 年間分娩数約250例
産科医師数・助産師数	仙台赤十字病院(産科医師6名、助産師29名)	産婦人科医師14名(常勤9名、非常勤5名) 助産師80名(常勤73名、非常勤7名)	産科婦人科医師数 25名 助産師数 20名
登録施設数(病院・診療所)	病院1 診療所42	診療所 12	病院 3 診療所 12
オープン病院化連絡協議会委員	県、関係6病院代表者、連携診療所代表者 仙台市医師会、仙台産婦人科医会 東北大学(岡村教授)	都、東京都医師会、東京産婦人科医会 愛育病院周産期医師・助産師、登録診療所医師 周産期母子医療センター医師	県、日本産科医会岡山県支部、岡山市医師会、岡山大学病院(産科医師、地域医療連携室長、産科棟棟師長)、岡山労災病院産科医師
連絡協議会の開催日	平成18年度・作業部会 5月16日(第1回)、協議会6月30日(第1回)・作業部会10月27日(第2回) 11月1日(第3回)、協議会12月7日(第2回)	平成18年6月19日(第1回)、10月16日(第2回)、平成19年3月26日(第3回予定)	平成17年9月2日(第1回) 平成18年12月27日(第2回)
住民への周知・勉強会等	ポスター・市民公開講座 登録医とセミオープン病院の勉強会	・登録医とオープン病院との勉強会 ・学会、関係団体での講演 ・妊婦向けパンフレットの配布	第22回岡山県母性衛生学会発表 第31回日産婦岡山地方部会発表 第2回周産期オープンシステム研修会
モデル事業と他事業・既存の対策との連携	厚生労働科学研究岡村班:「地域における分娩の適正化」で検討	・東京都周産期協議会の部会として連絡協議会を設置。検討結果は協議会に報告	周産期対策協議会において意見交換
各地域の課題	地域の特性により、セミオープン化としてスタートしたが、今後オープン化に移行可能であるかが課題である	・患者データの共有化 ・登録医数の加入促進 ・他地域でのオープン化の推進 ・普及啓発 ・妊娠リスクによる妊婦の適正配分 等	オープン病床の確保 大学で扱っていなかった症例への対応システムの整備
今後の事業予定	・連絡協議会の開催(平成19年3月) ・セミオープンシステムで分娩した患者さんに対するアンケート調査	・平成19年度連絡協議会 年3～4回開催 ・地域の周産期医療の分析→他地域での展開 ・一次、二次病院との連携 ・助産所との連携 ・患者データの共有化(電子カルテ化)	・契約医師会員以外の周辺地域への展開 ・開放型病院共同指導料施設基準の取得 ・取り決め事項の整備 ・県北での周産期オープンシステムの開始 ・岡山県周産期システムとの連携、全国クリティカルパスとの連携

周産期医療施設オープン病院化モデル事業 実施状況

平成19年2月

実施地域	静岡県	三重県	滋賀県
事業開始日	平成18年11月1日	平成18年4月3日	平成18年4月1日
事業実績	分娩数 0件 (セミオープンシステム登録15件)	0件(セミオープンシステム登録5件)	セミオープンシステム登録25件 分娩数16件(H18.12月現在)
産科オープン病院の概要	病院名	三重大学医学部附属病院	滋賀医科大学附属病院
	オープン病院の概要	全病床数408床 産科病床数23床(婦人科含) 年間分娩数332例(H17年度実績)	全病床数731床 産科病床数27床 NICU病床数5床 (年間分娩数 約300例)
産科医師数・助産師数	産科医師数4名 助産師数9名	産科医師12名 助産師14名	産科医師13名 助産師14名
登録施設数 (病院・診療所)	診療所 8 (病院3、診療所2追加予定)	病院4(6名) 診療所23(28名)(登録希望者含む)	病院4 診療所19 助産所3(助産師4)
オープン病院化連絡協議会委員	県 浜松医科大学 日本産婦人科医会静岡県支部 県立こども病院、掛川市立総合病院 菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院 榛原医師会、小笠医師会、島田市医師会 榛原総合病院	県 三重県医師会 三重県産婦人科医会 三重大学周産期母子センター(医師、看護師長 地域医療事務担当者) 登録診療所医師	県(健康推進課、医務薬務課 計4人) 滋賀県産婦人科医会(会長、理事 計4人) 滋賀医大(産科医師、助産師、地域連携室 計7人) オープン登録医師(代表6人) オープン登録助産師(代表2人)
連絡協議会の開催日	平成18年10月30日開催	平成18年9月28日(第1回)、平成18年11月16日(第2回)、平成19年1月25日(第3回)	平成18年10月12日開催 (実績報告、問題点と今後の課題等の検討)
住民への周知・勉強会等	ポスター、パンフレット作成及び配布 ホームページへの掲載	ポスター、パンフレットの作成・配布 市民公開講座(平成19年3月4日開催)	母子健康手帳別冊手帳で妊娠リスクスコア表活用 周産期に関する講演会(H18年9月16日開催)を一般市民に公開。テーマ:崩壊する周産期医療~どうするこれからのお産~「妊娠リスクスコアリングシステムと産科オープンシステム」について報告。
モデル事業と他事業・既存の対策との連携	未定	医療審議会周産期医療部会において審議	滋賀県周産期医療協議会で活動内容等報告
各地域の課題	セミオープンシステムの確立	地方型のオープンシステムの確立	現状システムでの課題改善と拡大への検討
今後の事業予定	事業の普及、啓発活動	オープン病院化連絡協議会の開催 事業の普及、啓発活動 運営委員会、症例検討会の開催予定 ホームページ作成	運営協議会の開催 事業の普及、啓発活動 等

周産期医療施設オープン病院化モデル事業 実施状況

平成19年2月

実施地域	広島県		
事業開始日	平成18年7月1日		
事業実績	セミオープンシステムでの分娩数 2件		
産科オープン病院の概要	病院名	県立広島病院	
	オープン病院の概要	平成18年3月31日現在 ・全病床数711床 ・産科病床数27床 ・NICU病床数9床 平成17年分娩数584例	
産科医師数・助産師数	産科医師9名 助産師53名		
登録施設数 (病院・診療所)	病院1、診療所6		
オープン病院化 連絡協議会委員	県、県立広島病院、登録医療機関代表、広島大学、広島県医師会、広島県産婦人科医会、地域周産期母子医療センター、県民代表		
連絡協議会の開催日	平成18年8月28日		
住民への周知・勉強会等	妊婦指導用パンフレット作成 啓発ポスター作成		
モデル事業と他事業・既存の対策との連携	広島県地域保健対策推進協議会産科医療提供体制検討部会への情報提供		
各地域の課題	・妊婦、産婦人科医への普及・啓発 ・病診連携システムの構築		
今後の事業予定	オープン病院化連絡協議会の開催 事業の普及・啓発 病診連携や産科医療資源の有効活用に関する 方策の検討		